



えでゆけ インフォメーション

■2019年 ブレインジムディ

2019年8月3日(土)開場10時 終了17時 会場 厚生会館 東京都千代田区平河町1-5-9

一般参加 当日券 3,240円 前売り1週間前迄 2,700円

会員参加 当日券 2,700円 前売り1週間前迄 2,160円

申し込み開始 6月15日(金)から

■協会主催 海外講師による特別講座

■『動きの探索 レベル1』 2019年10月26日(土)~29日(火) *この講座はどなたでも受講できます。

■『動きの探索 レベル3』 2019年11月1日(金)~4日(月) *インデプス及び動きの探索レベル1を受講済みの方が対象です。

講 師:キャロル・アン・エリックソン

会 場:レベル1 TKP九段下神保町ビジネスセンター 東京都千代田区神田神保町3-4 柳川ビル5F (九段下駅より徒歩1分)

受講料:レベル1・レベル3各講座 会員¥120,000+税 一般¥125,000+税

申し込み開始 8月19日(月)から *レベル3の会場:半蔵門近郊 決まり次第HPにてお知らせします。

■協会主催 B.G.T.P ブレインジムインストラクター養成講座

■日 程:2020年2月1日(土)~2月5日(水) *この講座は宿泊講座です。(初日は午後より開始予定)となります。

■会 場:神奈川近郊を予定

■受講条件:BGTP受講前にブレインジムとインデプスのケーススタディの提出と面談を事前に受けること。

*面談後に何らかの理由でBGTPの受講を取りやめる場合は、ブレインジム及びインデプスの面談費用、1種類につき

各¥35,000+税をお支払いいただきます。この場合いただいた面談費用は次年度に繰越することができます。

(他団体主催のBGTPには該当しません)。

■費 用:¥295,000+税 *協会会員は¥290,000+税(5,000円割引)となります。

*この講座は合宿形式で行われます。*全食、食事付き

*申込金1万円のお支払いをもって、お席の確保とさせていただきます。

■申し込み:10月頃を予定

【申し込み】 事務局 jimukyoku@edu-k.jp



人の病気と進化の記憶

今から数年前ですが、「進化医学」という分野に興味を持ち、論文を取り寄せたりしていました。今回はそんな進化医学の考え方についてご紹介します。

ヒトの身体は(そして心も)長い進化の過程での自然淘汰によって形作られました。現在を生きる私たちには、想像もできない過酷な環境とその変化に適応して生き残り、子孫を育んできた祖先の形質が選択されて、今日の人類へと至りました。そして進化の過程では、さまざまなトレードオフ(一方を追求するともう一方を犠牲にしなければならないという、二律背反の状態)があったと考えられます。たとえば人間は進化の過程で「発話」という機能を獲得しましたが、一方で「誤嚥」というリスクを背負うことになりました(ちなみに、ヒト以外の哺乳類は呼吸をしながら誤嚥せずに、水を飲むことができます)。

このように、コモンディジーズ(日常的に高頻度で遭遇する疾患、有病率の高い疾患のこと)の多くは、進化の過程でのトレードオフが環境変化によって不利に働いてしまった結果である、というのが進化医学の考え方のひとつです。

●**えでゆく**は、知ってるところとちょっとお得な豆知識コーナーです

天田 武志 (神奈川)

進化は遺伝子の変異に基づく個体差がその基盤であり、種としてみれば個体差が大きい方が、よりよく環境の変化に適応できます。ヒトのゲノムには多くの個体差が見られ、このことがヒトが短い間に進化できた理由であると考えられています。しかし、それはまた先天性疾患や、がんなどの遺伝子変異が原因の病気の存在にも関わっているかもしれません。

また現代において人類は、長い生命進化の歴史から見れば瞬間とも思えるほどの短期間に、環境を大きく変えてしましました。実は糖尿病や精神疾患の増加なども、その結果だと説明することができるのです。そして近年クローズアップされるようになった発達障害や学習障害も社会のあり方の大きな変化という圧力に、その遠因があるのかもしれません。

このような社会性に関わる病気の原因を深く理解し、対策につなげるためにも進化医学という視点が重要なのは?と思っています。



学びへの扉

<http://www.edu-k.jp>



BRAIN GYM® JAPAN

季刊(年4回発行) 発行:NPO法人日本教育キネシオロジー協会 東京都千代田区平河町2-11-10 パークウェスト301 電話03-6272-6037 企画・制作:KLスタッフ

●午前 11:00 ~ 12:00 ブレインジムミニ体験会



ブレインジムはそれぞれの現場でどんなふうに役に立っているの?

年に一度のブレインジムのイベント、また今年もやってまいりました!

①子ども達の集まりでブレインジムをする時に

神田 誠一郎

小中学校にお邪魔してブレインジムを紹介するときに
目につくことや気を付けているポイントをいくつか、
実際に動きながら紹介させていただきます。

②対象者に応じたアクティビティを体験してみよう!

ブレインジムカンパニー アイビー

豊田 裕子 高田 めぐみ 歌原 香菜

体験会では、参加してくださる方々に高齢者役と子ども
または支援が必要な方の役をしていただき、2つの
アクティビティを体験していただこうと思います。

●午前 10:00 ~ ポスター発表

「私はブレインジムを自分と他の人のためにこう使っています」

ポスター発表では、各地の
ブレインジムインストラクターが展示・発表します。
発表者に気軽に質問できる
良い機会です。ブレインジムを生活の中に生かす
ヒントがいっぱいです。

小川直子 (愛知県) 『学校ボランティア活動にブレインジムのエッセンスを』
佐分利 美佳 (兵庫県) 『ブレインジムとヨガ&ミュージカルの統合』
土本 奈津 (熊本県) 『精神病院でのゆる~いブレインジム活用「ここちよさ」をてがかりとして』
原田 明美 (北海道) 『子どもも大人も楽しくブレインジムを日常に!』
福田 燐 (栃木県) 『なぜPACEをするのか?~神経学的統合不全を考える~』
藤井 亜希子 (東京都) 『塾講師の仕事で、リラックスしつつも頭をフル回転させるのに使い倒しています』
薮崎 恵子 (静岡県) 『オンライン視力回復プログラム開講』
山本 かおる (香川県) 『脳出血からの奇跡?! の復活 リハビリで使うブレインジム』
ブレインジムカンパニー アイビー (大阪府) 『対象者のニーズに合わせたプログラム作り』

●午後 1:30 ~ 3:50 シンポジウム

五十嵐 郁代 (Ikuyo Igarashi)

「ブレインジムの合わない人はいるの? ブレインジムの枠組みを
理解し BG の可能性を広げよう~心理臨床現場から(3)」

心理臨床現場でブレインジムバランスを行う時、1回のセッションで完了する人もいれば、PACEを整えるまでに数年かかる人もいる。ポール・デニソンは、後者について「たくさん話を聞きなさい、たくさん動きをしない」と話した。このことを自覚できない人では、無力感でBGを放棄したり、強引にBGをすることになり兼ねない。基本を振り返りブレインジム導入について考える。

広島大学医学部薬学科卒業。
薬剤師・精神保健福祉士・心理士
言語表現の困難なトラウマに、身体を活用する
セラピーを模索してきた。

米国教育キネシオロジー財団認定ブレインジムインストラクター、
TFT-RCT、EMDR、臨床動作法、他を学ぶ。現在、精神科診療所勤務。



足立 一 (Hajime Adachi)

ブレインジム導入までのプロセス
~刑事施設での障害のある受刑者との関わりを通して~

ブレインジムはセルフで行うため、本来は人に勧めても安全である。しかし、自己決定できない状況ではどうであろうか? 私は現在、刑事施設で障害のある受刑者へブレインジムを行っている。ブレインジムがどんなに良いものでも、対象となる受刑者は、個人と環境の観点から、自己決定が難しい状況にあることに注意が必要である。今回、ブレインジム導入まで1年を要した事例を通して、私自身が学んだことを紹介したい。

大阪保健医療大学 准教授
NPO 法人障がい者スポーツ Friendly Action 副理事長
作業療法士
一般社団法人 SST 普及協会認定講師
シナプロジェクト研究所教育トレーナー
米国教育キネシオロジー財団認定ブレインジムインストラクター



嵯峨 慶子 (Yoshiko Saga)

運動能力育成にブレインジムを紹介する際の指導者との関わりと実践時の工夫
スポーツや運動能力の育成にブレインジムを紹介してきました。指導者の
関心は、成長や勝敗に加えて、メンタル面の強化と心身のバランス、原始反射等がもたらす動きのマイナス面とそれに対する対応です。今回の講演
では、日頃どのように運動指導者とコミュニケーションをとっているのか? 未就学児から高校生までの学生に対して、どのようなことを意識して
セッションを行っているのかをお話します。



土橋 秀子 (Hideko Dobashi)

子育てに困り感をもつ方たちとのブレインジム

子育てが辛い、苦しい、不安や不満がたくさん…感じている保護者の
方たちとの関わりの中で行うブレインジムは、「動きは学びの扉」であることを教えてくれます。
子どもだけでなく、親自身も慈しみながら育していくための支援についての取り組みを報告させていただきます。



自分を大切にする力を育む「みづば塾」代表 NPO法人えじそんぐらぶ
理事。発達に凹凸のある子どもをもつ親の会『にじいろのタネ』を主催。
米国教育キネシオロジー財団認定ブレインジムインストラクター。埼玉
県を中心に保護者向けの講演会やワークショップ、子どもクラスを提供
している。